

HP UPS SNMP/シリアル ポート カード リファレンス ガイド



2003年4月 (第2版)
製品番号 201543-192

© 2003 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Microsoft®およびWindows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、そのままの状態を提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品に対する保証については、当該製品に付属の限定保証書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

HP UPS SNMP/シリアルポートカードリファレンスガイド

2003年4月（第2版）
製品番号 201543-192

目次

このガイドについて

対象読者	v
安全に使用していただくために	v
装置の記号	v
本文中の記号	vi
参考資料	vi
HPのWebサイト	vi

第1章

はじめに

UPS SNMP/シリアル ポート カード	1-1
-----------------------------	-----

第2章

インストール

キットの内容	2-1
UPS SNMP/シリアル ポート カードのインストール	2-1

第3章

設定

ホスト コンピュータに接続して設定する	3-1
設定画面の使用	3-4
設定フィールド コマンド	3-5
設定フィールドの参照	3-5
基本設定およびネットワーク設定の変更	3-5
例1	3-6
IP address (IP)	3-6
Netmask (NM)	3-6
Gateway (GW)	3-7
Authorized Password (PW)	3-7
設定の有効化	3-7
ネットワークへの接続	3-8
詳しい情報について	3-8

付録A

規定に関するご注意

規定準拠識別番号	A-1
Federal Communications Commission Notice.....	A-1
Canadian Notice (Avis Canadien).....	A-3
European Union Notice.....	A-3
BSMI Notice.....	A-3

索引

このガイドについて

このガイドでは、HP UPS SNMP/シリアル ポート カードのインストールおよび設定手順を順番に説明し、参照情報を提供します。

対象読者

このガイドは、HP UPS SNMP/シリアル ポート カードの使用についての情報を必要としている担当者を対象とし、コンピュータ機器の保守の資格があり、高電圧製品の危険性について理解していることを前提としています。

安全に使用していただくために

UPSに同梱の『安全に使用していただくために』をよく読んでから、製品のインストールを開始してください。

装置の記号

安全上の注意が必要な装置の各部には、以下の記号が示されています。



警告：以下の記号と組み合わせて使用され、危険があることを示します。警告事項に従わないと、けがをする場合があります。詳しくは、ご使用のマニュアルを参照してください。



装置に高電圧が発生する回路があることや、装置の表面または内部部品に触れると感電の危険があることを示します。修理はすべて、資格のある担当者に依頼してください。

警告：感電を防止するために、カバーを開けないようにしてください。メンテナンス、アップグレード、および修理はすべて、資格のある担当者に依頼してください。



重量kg
重量lb

製品や機械にこの記号が付いている場合、1人で安全に取り扱うことができる重量を超えていることを示します。

警告：けがや装置の損傷を防ぐために、ご使用の地域で定められた重量のある装置の安全な取り扱いに関する規定に従ってください。

本文中の記号

本文中の以下の記号の意味を示します。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがある警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがある注意事項を表します。

重要：概念を説明するため、またはタスクを完了するための重要な情報を示します。

注：本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。

参考資料

このガイドで説明する各項目について詳しくは、以下のマニュアルを参照してください。

- 『HP UPS XR製品電源コードおよびオプション リファレンス ガイド』
- 『HP電源製品標準用語集』
- UPSのユーザ ガイド
- UPSのインストレーション インストラクション

上記のマニュアルは、Power Products Documentation CDに収録されているか、またはHPのWebサイト <http://www.hp.com/jp/manual>に掲載されています。

HPのWebサイト

この製品に関する情報や、最新のドライバ、ファームウェアのアップデート、およびサービス パックに関する情報については、HPのWebサイト <http://www.hp.com/jp>を参照してください。

今日のビジネス環境におけるコンピュータ ネットワークは、大規模かつ複雑で、しかも非常に重要な位置を占めています。これらのシステムでは、UPS（無停電電源装置）を使用することにより、電源設備に障害が発生した場合でもデータの損失を防ぐことができます。UPSにHP UPS SNMP/シリアル ポートカードをインストールすることにより、ネットワーク管理システムが割り込むことのできないワークステーションまたは他の周辺装置に、電源管理ソリューションを提供できます。

UPS SNMP/シリアル ポート カードは、HP Rack and Power Managerソフトウェアに対応していて、Ethernet ネットワークを介してソフトウェアとUPS間のリモート通信を提供します。HP Rack and Power Manager について詳しくは、HP Rack and Power Management Pack CDに収録されているマニュアルを参照してください。

UPS SNMP/シリアル ポート カード

HP SNMP UPSオプションには、オプション スロット付きUPSモデル用SNMP-ENアダプタと、HP UPS XRモデル用UPS SNMP/シリアル ポート カードの2つのモデルがあります。このリファレンス ガイドで説明するのは、UPS SNMP/シリアル ポート カード モデルだけです。オプション スロット アダプタについて詳しくは、Power Products Documentation CDに収録されている『SNMP-ENアダプタ リファレンス ガイド』を参照してください。

シリアルポート (1) は、設定用ポートとして使用します。詳細な設定情報については、このガイドの第3章を参照してください。

UPS SNMP/シリアルポートカードは、RJ-45コネクタ (2) を使用してツイストペアEthernet (10Base-T) ネットワークに接続されます。

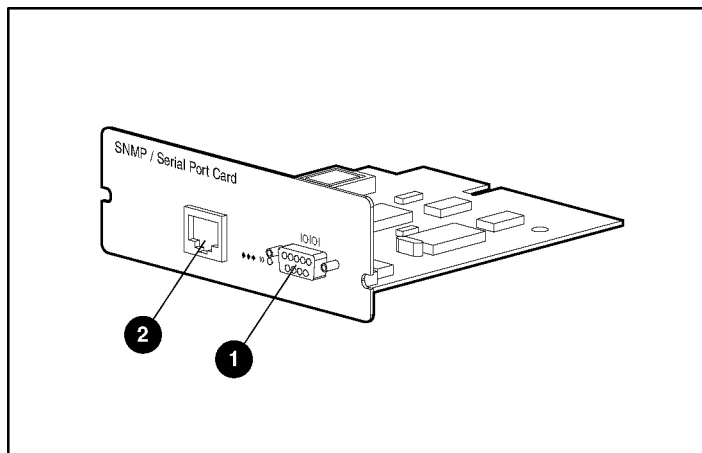


図1-1 : UPS SNMP/シリアルポートカード

番号	説明
1	シリアルポート
2	RJ-45コネクタ

インストール

UPS SNMP/シリアル ポート カードは、HP UPS XRモデルにインストールするように設計されています。UPS SNMP/シリアル ポート カードとUPSとの通信には、カードのエッジ コネクタを内部で接続して使用します。

UPS SNMP/シリアル ポート カードをインストールする前に、UPSが動作可能になっていなければなりません。また、ツイストペア ケーブルによるEthernetネットワーク接続の準備が必要です。詳しくは、Power Products Documentation CDに収録されているUPSのユーザ ガイドの「操作」の章を参照してください。

キットの内容

UPS SNMP/シリアル ポート カード オプション キットの同梱品は、次のとおりです。

- HP UPS SNMP/シリアル ポート カード
- 『HP UPS SNMP/シリアル ポート カード オプション キット インストレーション インストラクション』
- HP Power Products Documentation CD
- HP Rack and Power Management Pack CD
- コンフィギュレーション ケーブル (製品番号201092-002)

インストールを完了するには、#2プラス ドライバが必要です。

UPS SNMP/シリアル ポート カードのインストール

1. ホストUPSで保護されているあらゆるサーバまたはワークステーションに、HP Rack and Power Manager エージェントをインストールします。このソフトウェアをインストールするには、このキットに付属のHP Rack and Power Management Pack CD、またはHPのWebサイト<http://www.hp.com/> (英語)にある手順を参照してください。
2. ホストUPSに接続されているすべてのデバイス上で、通常の手順でシステムをシャットダウンします。

- UPSを、スタンバイ ボタン (1) を押して (動作モードまたは設定モードから) スタンバイ モードにします。

注: 適切なシャットダウン手順については、Power Products Documentation CDに収録されているUPSのユーザ ガイドを参照してください。

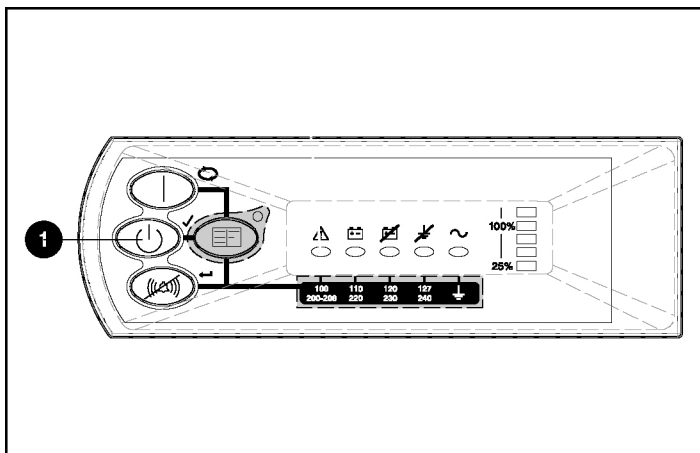


図2-1 : UPSをスタンバイ モードにする

- UPSのソケットに接続されているすべてのデバイスを切り離して、UPSのプラグをコンセントから抜きます。内部回路がシャットダウンするまで、60秒以上待ちます。



警告: 感電を防止するために、UPSのプラグをコンセントから抜く前に、UPSのソケットからすべての負荷を切り離してください。UPSが電源コンセントから切り離されている間は、UPSは動作させないでください。

- UPSの背面にあるシリアルポートカードを取り外します。

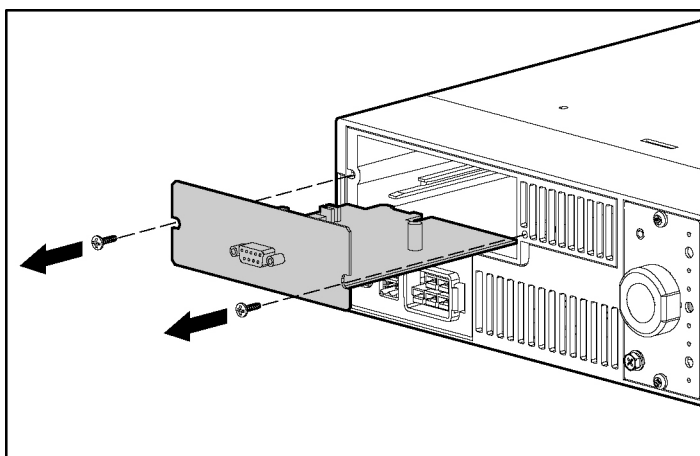


図2-2 : シリアルポートカードを取り外す

- UPS SNMP/シリアルポートカードをインストールします。必ず、正しく固定してください。

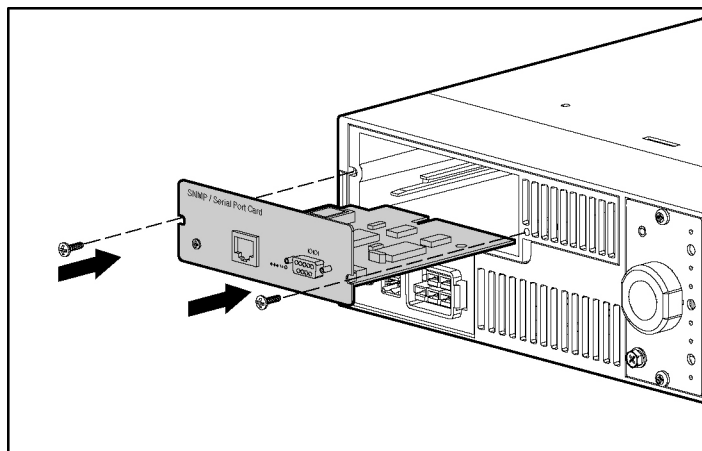


図2-3 : UPS SNMP/シリアルポートカードをインストールする

- ネットワークのデバイスをUPSに再接続し、UPSの電源を入れます。
- Ethernetネットワークケーブル(1)の一方の端を、UPS SNMP/シリアルポートカードのRJ-45コネクタ(2)に接続します。他方の端は、ネットワークデバイスの適切なポートに接続します。

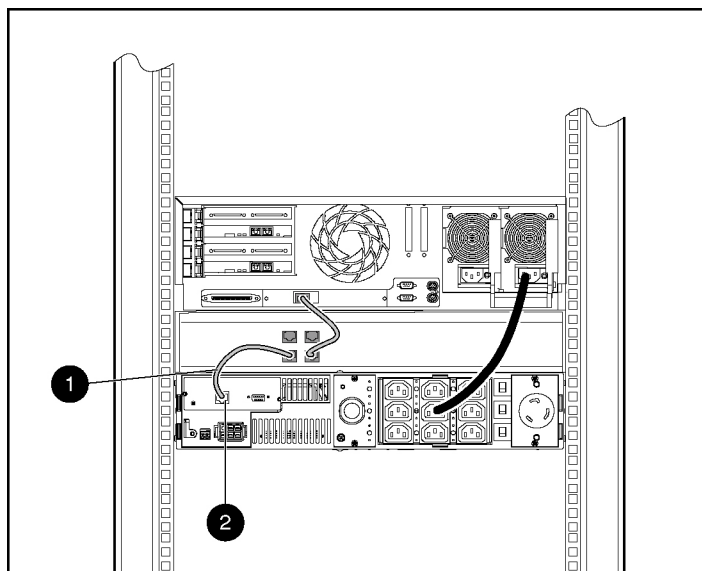


図2-4 : 最終ネットワーク構成

UPS SNMP/シリアル ポート カードを設定する前に、次を確認してください。

- UPSに、UPS SNMP/シリアル ポート カードがインストールされている。手順については、「2 インストール」を参照してください。
- UPSが動作モードまたはスタンバイ モードになっている。
- シリアル設定ケーブル (UPS SNMP/シリアル ポート カード オプション キットに同梱) を使用できる。
- ハイパーターミナルなどのターミナル エミュレーション プログラムを持つサーバまたはワークステーションにアクセスできる。

次の設定値を、ネットワーク管理者に問い合わせてください (後で参照するために、これらの値を書き留めておいてください)。

- IPアドレス (動的IPアドレスではなく、固定IPアドレス)
- ネットマスク (サブネット マスク)
- デフォルト ゲートウェイ

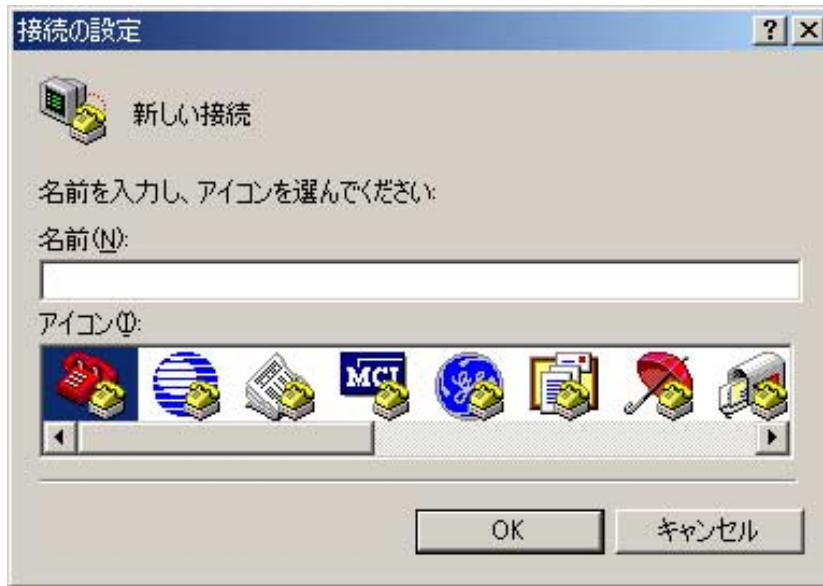
ホスト コンピュータに接続して設定する

注: UPS SNMP/シリアル ポート カードがインストールされ (「2 インストール」を参照) ホストUPSが動作モードまたはスタンバイ モードになっていなければなりません (パワー プロダクト ドキュメンテーションCDに収録されているUPSのユーザガイドを参照)。

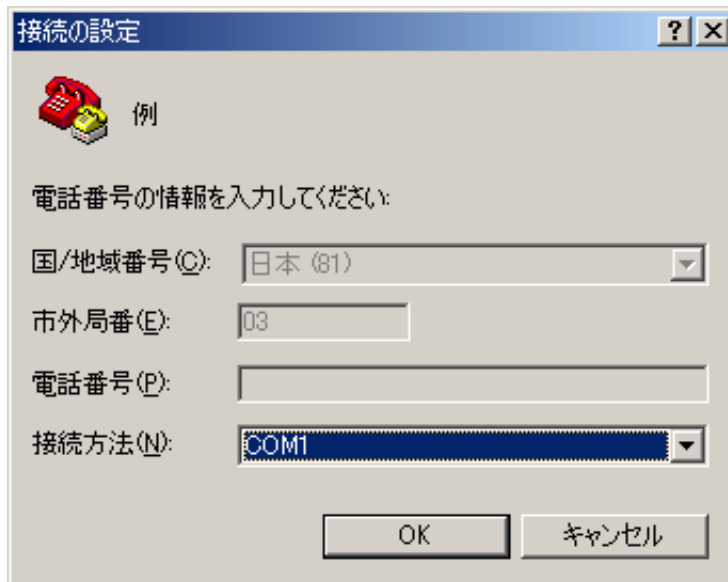
UPS SNMP/シリアル ポート カードを接続し、設定プログラムを起動するには、以下の手順に従ってください。

1. シリアル設定ケーブル (UPS SNMP/シリアル ポート カード オプション キットに付属) のオス側を、UPS SNMP/シリアル ポート カードのシリアル ポート ("Config/Modem" というラベルが付いています) に接続します。
2. シリアル設定ケーブルのメス側を、ターミナル エミュレーション プログラムを実行中のサーバまたはワークステーションの背面にある選択されたシリアル ポートに接続します。

3. ターミナルエミュレーションプログラムを起動します。Microsoft® Windows®オペレーティングシステムで、ハイパーターミナルを起動するには、以下の手順に従ってください。
 - a. [スタート]メニューから、[ファイル名を指定して実行]を選択します。
 - b. [名前:]フィールドに、HYPERTRMと入力します。
 - c. [OK]をクリックします。[接続の設定]画面が表示されます。



4. 接続の名前を入力して、[OK]をクリックします。[接続の設定]画面が表示されます。



5. 手順2で、UPS SNMP/シリアル ポート カードを接続したサーバの通信ポートを使用して接続を行うように設定し、[OK]をクリックします。COMポートのプロパティ画面が表示されます。



6. COMポートのプロパティ画面で次のように設定します。

- [ビット/秒]を9600
- [データ ビット]を8
- [パリティ]を「なし」
- [ストップ ビット]を1
- [フロー制御]をXon/Xoff

[OK]をクリックします。ハイパーターミナル セッション ウィンドウが表示されます。

7. **Enter**キーを押します。**Main Configuration**画面が表示されます。

```

Powerware ConnectUPS-EM Version 3.60 (26-Nov-2001)
CMD ----- Basic Setup -----
IP IP address: . . . . . 172.25.234.120   MAC Address: 002085011084
NM Netmask: . . . . . 255.255.255.0
----- Network Setup -----
GW Gateway: . . . . . **Not Defined**
BR BOOTP retries: . . . . . 0
PW Authorized Password: . . . . . MustB6
LV Command Security Level . . . . . Stnd
----- UPS Setup -----
Comm Settings: . . . . . 9600/N/8/1
ID UPS Unit ID:
----- SNMP Setup -----
CG Get Community name: public
CS Set Community name: private
CT Trap Community name: public
SN sysName: No sysName given
SC sysContact: No sysContact given
SL sysLocation: No sysLocation given
AD AttcDevices: No upsIdentAttachedDevices given
% _

Help: To change a parameter, type
      the CMD and the new value
Examples: IP 128.1.2.3
          SC "Help Desk x101"
For more help, enter the CMD alone
HS to show Host Table Setup
SA to Save Configuration and Restart
CF to Redisplay this Screen
MS to show Modem Configuration Screen

```

Main Configuration画面が表示されない場合は、シリアル設定ケーブルがUPSとサーバのシリアルポートに正しく接続されているか確認して、再度**Enter**キーを押してください。

それでも**Main Configuration**画面が表示されない場合は、次の状態をチェックしてください。

- ハイパーターミナルプログラムは、RS-232接続用の正しい通信ポート上になければなりません。
- 端末の通信設定は、9600ボー、パリティなし、8ビット、1ストップビットでなければなりません。
- シリアル設定が正しい場合は、UPS SNMP/シリアルポートカードの配線をチェックして、すべての接続がしっかりと固定されているか確認します。
- UPSが動作モードまたはスタンバイモードになっていることを確認してください。

設定画面の使用

Main Configuration画面は、UPS SNMP/シリアルポートカードの現在の設定を表示します。

注：**Main Configuration**画面を再表示する場合、または任意のサブ画面から**Main Configuration**画面に戻る場合は、ハイパーターミナルプロンプトで**CF**と入力します。

設定フィールド コマンド

注：“^”記号は、スペースを入力する必要があることを示します。

表3-1：設定フィールド コマンド

コマンド フィールド	コマンド構造 (プロンプトで入力するもの)	
IP address (IP)	IP^IPアドレス	(a.b.c.d)(0~255)
Netmask (NM)	NM^ネットマスク アドレス	(a.b.c.d)(0~255)
Gateway (GW)	GW^デフォルト ゲートウェイ	(a.b.c.d)(0~255)
Authorized Password (PW)	PW^パスワード	6文字です。大文字と小文字が区別され ます。デフォルトのパスワードは、MustB6 です(*)。
Redisplay screen	CF	
Save and restart	SA	

* パスワードをデフォルトのMustB6から変更すると、HP Rack and Power Managerを使用してUPSを管理できなくなります。

設定フィールドの参照

コマンド フィールドの既存の値を表示するには、適切なフィールドにカーソルを置いて、**Enter**キーを押します。

基本設定およびネットワーク設定の変更

以下の項では、設定プログラムを使用して変更できる設定について説明します。

セットアップ オプションの値を変更するには、以下の手順に従ってください。

1. 2文字のコマンドを入力します。
2. スペースバー (^) を押します。
3. 新しい値を入力します。
4. **Enter**キーを押します。

例1

たとえば、IPアドレスを変更するには、次のようにします。

1. IP^{a.b.c.d}と入力します。ここで、*a*、*b*、*c*、*d*は0～255の数です（たとえば、IP^{20.125.2.255}）。この範囲外の数を使用すると、エラーメッセージが表示されます。
2. 各コマンドの後でEnterキーを押すと、新しい設定が保存され、Main Configuration画面に戻ります。無効な値を入力すると、設定プログラムは、有効な値の範囲を表示します。

注：新しく設定された値は、Main Configuration画面に自動的に表示されません。設定プログラムに新しい値を表示させるには、空白のコマンドラインでEnterキーを押します。

編集後に、ハイパーターミナルのMain Configuration画面の変更を表示するには、ハイパーターミナルプロンプトでCFと入力します。

注："^"記号は、スペースを入力する必要があることを示します。

IP address (IP)

IPアドレスを変更するには、次のように入力します。

IP^{IPアドレス}

ここで、IPアドレスは、UPS SNMP/シリアルポートカードに割り当てられたIPアドレスです。「例1」で説明したフォーマットを使用してください。

重要：デフォルト設定の0.0.0.0では、UPS SNMP/シリアルポートカードはネットワーク上で正しく動作しません。

注：IPアドレスが不明の場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

Netmask (NM)

ネットマスクアドレスを変更するには、次のように入力します。

NM^{ネットマスク アドレス}

ここで、ネットマスクアドレスは、UPS SNMP/シリアルポートカードに割り当てられたネットマスクアドレスです。「例1」で説明したフォーマットを使用してください。ローカルネットワークがサブネットに分割されている場合、ネットマスクアドレスには、必ずその設定を反映させてください（たとえば、255.255.0.0）。

Gateway (GW)

デフォルト ゲートウェイを変更するには、次のように入力します。

GW^デフォルト ゲートウェイ

ここでデフォルト ゲートウェイ は、ローカル ネットワーク セグメントに宛てられていないすべてのパケットのデフォルトの宛先です。ネットワーク内にルータがある場合は、この値を設定しなければなりません。「例1」で説明したフォーマットを使用してください。プライマリ ゲートウェイがない場合は、GW^0.0.0.0と入力してください。

注：デフォルト ゲートウェイが不明の場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

Authorized Password (PW)

UPS SNMP/シリアル ポート カードとHP Rack and Power Managerとの通信には、パスワードが必要です。このパスワードは、6文字の英数字でなければなりません。パスワードを作成するには、次のように入力します。

PW^パスワード

ここでパスワードは、大文字と小文字が区別されるパスワードです。任意の文字を使用できますが、スペースを最初の文字として使用することはできません。デフォルトのパスワードは、MustB6です。

重要：パスワードをデフォルトのMustB6から変更すると、HP Rack and Power Managerを使用してUPSを管理できなくなります。

注：パスワード機能は無効にできません。

設定の有効化

新しい設定を有効にするには、以下の手順に従ってください。

1. SAと入力します。このコマンドにより、UPS SNMP/シリアル ポート カードは変更された新しい設定で再起動されます。UPSが正しく設定されている場合、Main Configuration画面が自動的に正しいUPSモデルをレポートします。
2. これで、UPS SNMP/シリアル ポート カードは設定されました。UPS SNMP/シリアル ポート カードとサーバのシリアル ポートの接続を切断します。

注：通常の動作中は、設定ケーブルを接続したままにしないでください。

3. UPS SNMP/シリアル ポート カードをネットワークに接続します。

ネットワークへの接続

適切なケーブルとコネクタについては、「2 インストール」を参照してください。UPS SNMP/シリアルポートカードをネットワークに接続するには、以下の手順に従ってください。

1. ツイストペア ケーブルの一方のコネクタを、UPS SNMP/シリアル ポート カードのRJ-45コネクタに接続します。
2. ケーブルのもう一方の端を、ネットワーク デバイスの適切なポートに接続します。

詳しい情報について

UPS SNMP/シリアル ポート カードをHP Rack and Power Managerと合わせて動作させる方法について詳しくは、HP Rack and Power Management Pack CDに収録されているマニュアルを参照してください。

規定に関するご注意

ご使用になっている装置にVCCIマークが付いていましたら、次の説明文をお読みください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCIマークが付いていない場合には、次の点にご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

規定準拠識別番号

規定に準拠していることの証明と識別のために、ご使用の製品には、固有のシリーズ番号が割り当てられています。シリーズ番号は、必要なすべての認可マークおよび情報とともに、製品銘板ラベルに印刷されています。この製品の準拠情報を請求する場合は、必ず、このシリーズ番号を参照してください。このシリーズ番号を製品の製品名またはモデル番号と混同しないでください。各国別勧告以下に日本以外の国や地域での規定を掲載します。

Federal Communications Commission Notice

Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) Rules and Regulations has established Radio Frequency (RF) emission limits to provide an interference-free radio frequency spectrum. Many electronic devices, including computers, generate RF energy incidental to their intended function and are, therefore, covered by these rules. These rules place computers and related peripheral devices into two classes, A and B, depending upon their intended installation. Class A devices are those that may reasonably be expected to be installed in a business or commercial environment. Class B devices are those that may reasonably be expected to be installed in a residential environment (for example, personal computers). The FCC requires devices in both classes to bear a label indicating the interference potential of the device as well as additional operating instructions for the user.

The rating label on the device shows the classification (A or B) of the equipment. Class B devices have an FCC logo or FCC ID on the label. Class A devices do not have an FCC logo or FCC ID on the label. After the class of the device is determined, refer to the corresponding statement in the following sections.

Class A Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at personal expense.

Class B Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit that is different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo, United States Only

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding your product, contact us by mail or telephone:

- Hewlett-Packard Company
P. O. Box 692000, Mail Stop 530113
Houston, Texas 77269-2000
- 1-800-652-6672 (For continuous quality improvement, calls may be recorded or monitored.)

For questions regarding this FCC declaration, contact us by mail or telephone:

- Hewlett-Packard Company
P. O. Box 692000, Mail Stop 510101
Houston, Texas 77269-2000
- 1-281-514-3333

To identify this product, refer to the part, series, or model number found on the product.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett-Packard Company may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods in order to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Canadian Notice (Avis Canadien)

Class A Equipment

This Class A digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe A respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

Class B Equipment

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

European Union Notice

Products with the CE Marking comply with both the EMC Directive (89/336/EEC) and the Low Voltage Directive (73/23/EEC) issued by the Commission of the European Community.

Compliance with these directives implies conformity to the following European Norms:

- EN50091-1 - UPS Product Safety Requirements
- EN50091-2 - UPS EMC Requirements

BSMI Notice

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

A

Authorized Password (PW) 3-7

B

BSMI Notice A-3

C

Cables A-3
Canadian Notice (Avis Canadien) A-3
Class A Equipment A-2、A-3
Class B Equipment A-2、A-3
COMポートのプロパティ画面 3-3

E

Ethernetネットワーク ケーブル 2-3
European Union Notice A-3

F

Federal Communications Commission
Notice A-1

G

Gateway (GW) 3-7

H

HP Rack and Power Manager
エージェント 2-1
ソフトウェア 1-1
HPのWebサイト vi
HP Power Products Documentation CD 2-1

I

IP address (IP) 3-6

M

Main Configuration画面 3-4
Manager
エージェント 2-1
ソフトウェア 1-1
Modifications A-2

N

Netmask (NM) 3-6

P

Power Manager
エージェント 2-1
ソフトウェア 1-1

R

RJ-45コネクタ 1-2

U

UPS XRモデル
インストール 2-1

い

インストール
UPS SNMP/シリアルポートカード 2-1
UPS XRモデル 2-1

え

エージェント
Power Manager 2-1

か

画面
COMポートのプロパティ 3-3
Main Configuration 3-4
設定、接続 3-2

き

記号

スペースを入力する必要があること 3-5

キットの内容 2-1

規定準拠識別番号 A-1

け

ケーブル

Ethernet 2-3

コンフィギュレーション 2-1

シリアル設定 3-1

接続

ネットワーク 3-8

こ

コネクタ、RJ-45 1-2

コマンド

Authorized Password (PW) 3-7

Gateway (GW) 3-7

IP address (IP) 3-6

Netmask (NM) 3-6

設定フィールド 3-5

フィールドの既存の値 3-5

コンピュータ、ホスト 3-1

コンフィギュレーション ケーブル

製品番号 2-1

し

シリアル設定ケーブル

接続 3-1

シリアルポート 1-2

す

スタンバイモード 2-2

[ストップビット] 3-3

せ

製品番号、コンフィギュレーション

ケーブル 2-1

接続

Ethernetネットワークケーブル 2-3

シリアル設定ケーブル 3-1

名前を入力 3-2

ネットワーク 3-8

ホストコンピュータ 3-1

[接続の設定]画面 3-2

設定

COMポートのプロパティ画面 3-3

UPS SNMP/シリアルポートカード 3-1

シリアルポート 1-2

ポート 3-3

有効化 3-7

設定フィールド コマンド 3-5

そ

ソフトウェア、Power Manager 1-1

た

ターミナルエミュレーション プログラム 3-1

て

[データビット] 3-3

デフォルトのパスワード 3-7

な

内容、キット 2-1

ね

ネットワーク

接続 3-8

は

ハイパーターミナル 3-2

パスワード 3-7

[パリティ] 3-3

ひ

[ビット/秒] 3-3

表示

コマンドフィールドの既存の値 3-5

ふ

[フロー制御] 3-3

ほ

ポート、シリアル 1-2

ホストコンピュータ 3-1

も

モード

スタンバイ 2-2

ゆ

有効化

設定 3-7